

# 令和8年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 9

千葉県立千葉北高等学校 全日制の課程 普通科

## 1 期待する生徒像

次の全てを満たす生徒

ア 本校のスクールポリシーにある「7つの北高力」を十分に理解し、入学後も様々な方面において、主体的に果敢なチャレンジを重ねる意欲がある。

イ 他者を尊重し、学校や社会のルールやマナーを守りながら学校生活に取り組む意志がある。

## 2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査(面接)	受検者7名・評価者3名の集団面接 検査時間：1グループ15分

## 3 評価項目及び評価基準

### (1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。

### (2) 調査書 [175点満点]

アの数値に、イについて加点(上限40点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K = 1$ を乗じた数値で評価する。 評定1の教科、未評価の教科のいずれかがある場合は、審議の対象とする。
イ 特別活動の記録、部活動等の記録及び特記事項	生徒会本部役員の場合は加点する。 運動系部活動等の実績については、県大会出場、県大会ベスト8以上、関東大会出場等の段階に応じて、文化系部活動等の場合はそれに相当する実績・受賞等に応じて加点する。 英語検定・漢字検定・数学検定等の取得資格については、特に優れた内容について加点する。

(3) 学校設定検査（面接）〔20点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、ア・イについては a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で、ウについては b（問題がない）・c（問題がある）の2段階で評価する。

3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（ア・イは a a a～c c c）（ウは b b b～c c c）で得点化する。いずれかの項目において c 評価が2つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	千葉北高校の期待する生徒像を理解し、志望動機が明確である。
イ 質問への受け答え	質問内容を的確に理解し、わかりやすく適切に回答することができる。
ウ 身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 基本的な面接作法が身に付いている。

4 選抜方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K=1）	加点	面接	
500点	135点	40点	20点	695点

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。